

◆みなとオアシス敦賀に赤レンガ倉庫が追加◆



～赤レンガ倉庫～

赤レンガ倉庫は1905年に石油貯蔵用の倉庫として建設され、軍の備品倉庫や昆布貯蔵庫としても使われた福井県内でも有数のレンガ建造物です。平成21年(2009年)には、北棟・南棟・煉瓦塀が国の登録有形文化財に登録されています。

昨年11月、敦賀市金ヶ崎町にオープンし、多くの利用客を集めている『敦賀赤レンガ』が、「みなとオアシス敦賀」の構成施設として加わりました。

『みなとオアシス敦賀』の他の施設と一体で、「みなと」を活用した特徴ある観光拠点になるとして設置者の敦賀市より追加登録の申請がありました。

『敦賀赤レンガ』は、鉄道と港の模型を楽しむ「ジオラマ館(北棟)」、赤レンガの雰囲気を楽しみながら食事ができる「レストラン館(南棟)」、憩いの場やイベント広場として利用できる「オープンガーデン」で構成されていて、港の近くでゆったりと過ごすことができます。

『敦賀赤レンガ』や、近隣の「旧敦賀港駅舎(鉄道資料館)」 「人道の港ムゼウム」で敦賀の歴史やレトロな雰囲気を堪能してみたいはいかがでしょうか。



～みなとオアシス～

旅客ターミナル、緑地、海浜など「みなと」の施設を活用し地域振興に係る取り組みが継続的に行われる区域を「みなとオアシス」として認定・登録しています。

◆「平成28年度 敦賀みなと振興会」定例総会が開催されました◆

平成28年5月25日(水)、クルーズ客船誘致を核に敦賀港と敦賀市内の賑わい創出を目指す「敦賀みなと振興会」の総会が敦賀市役所で開催されました。

総会では、会長の淵上隆信敦賀市長の挨拶に続き、「クルーズ客船見送り隊の積極的な募集活動の開催」や「地元クル

ーズ人口の拡大のための市民クルーズの開催」などの事業計画が承認されました。

質疑応答では、「来年度は大型クルーズ船の寄港が決まっている。福井県と一緒に万全な受け入れ体制を検討することが重要」という意見が挙がりました。



敦賀市長(会長)の挨拶



定例総会の様子

◆所長着任挨拶◆

平成28年4月1日付けで北陸地方整備局敦賀港湾事務所長に参りました大下善幸です。敦賀での勤務は平成16年度以来2回目です。どうぞよろしくお願いいたします。

また、日頃から、多くの港湾関係者等のみなさまから御指導・御協力を頂き、ありがとうございます。

さて、当事務所メイン事業である敦賀港の鞠山北防波堤200m延伸事業は、港内静穏度の向上と航行船舶の安全かつ円滑な航行のため、整備を進めて参りましたが、平成27年度をもちまして完成いたしました。これにより敦賀港が益々利用しやすい港となり、地域の発展に寄与できるものと期待しているところです。

また、福井港海岸保全施設整備事業につきましては、侵食・越波対策としての離岸堤・潜堤の整備が今年度でほぼ完了し、液状化・吸い出し対策である地盤改良も完成に向け、施工を進めています。

当事務所では職員一丸となり、福井県及び福井県内の港湾の発展のため微力ではございますが、尽力して参りたいと考えておりますので、引き続き御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

加えて、敦賀港や福井港海岸などに関する情報を、本誌「湊若越」で発信して参りますので、「湊若越」のご愛読もあわせてお願いいたします。



[2016年 夏号 Vol.45]



「港の元気は福井の元気」「地元の貨物は地元の港から」

◆「敦賀港港湾保安対策協議会」を開催しました◆

平成28年4月28日(木) 敦賀市西公民館において「敦賀港港湾保安対策協議会」を開催しました。

本協議会は、外航船舶が利用する埠頭の保安対策について、関係行政機関や港湾利用企業等における相互連絡及び連携・協力体制を構築するため組織された機関です。

5月26日～27日に開催された「伊勢志摩サミット」に向けて、敦賀港保安対策の更なる連携強化と情報共有を図るために開催しました。

会議の冒頭、協議会の会長である当事務所大下所長が「世界各地で頻繁にテロが発生、日本近辺でも北朝鮮のミサイル発射等、益々緊張が高まっている。国際会議は、テロの標的になるリスクがあり、万全の対策を講じる必要がある。より一層の港湾保安対策に関する情報共有と連携強化を図りたい。」と挨拶しました。

会議には、協議会構成員ら23名の参加があり、敦賀警察署佐藤警部補による「サミットに向けた国際テロ対策について」と題した国際テロの発生状況やテロの脅威、テロの未然防止に向けた取組等の紹介をはじめ、敦賀海上保安部中村警備救難課長による「海上におけるテロ対策について」、当事務所阿部副所長による「港湾における保安対策の現況について」の情報提供が行われました。

サミットに向けた各機関における連携・協力体制の強化を確認し、福井県嶺南振興局敦賀港湾事務所児玉所長の閉会挨拶で会議は終了しました。



会議の様子

目次

● 所長着任挨拶	P1
● 「敦賀港港湾保安対策協議会」を開催しました	P2
● 平成28年度の敦賀港・福井港海岸整備計画を紹介します	P3
● 港湾業務艇「まつかぜ」の体験航海を実施	P4
● 平成28年度敦賀港整備促進期成同盟会定期総会開催されました	
● みなとオアシス敦賀に赤レンガ倉庫が追加	
● 平成28年度敦賀みなと振興会定例総会が開催されました	P4



●発行
国土交通省 北陸地方整備局 敦賀港湾事務所
所長・副所長(事務)・総務課・品質管理課
工務課・企画調整課・保全課・沿岸防災対策室
〒914-0065 福井県敦賀市松栄町2番43号
TEL:0770-22-2590 FAX:0770-21-8101
福井分室 副所長(技術)・総務課・工務課・海岸課
〒913-0037 福井県坂井市三国町黒目24字32
TEL:0776-82-1125 FAX:0776-81-7003

敦賀港湾事務所ホームページ
<http://www.tsuruga.pa.hrr.mlit.go.jp/>
北陸地方整備局 港湾空港部ホームページ
<http://www.pa.hrr.mlit.go.jp/>
「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル
大いに 良くなれ みなと
0120-497-370
※海やみなとに関するご意見、ご感想をお寄せください。

◆平成28年度の敦賀港・福井港海岸整備計画を紹介します◆



鞠山防波堤は、平成24年4月に異常な高波浪によりケーソンが滑動する被害を受けたことから、平成26年度より防波堤港内側に基礎石を追加し、ケーソンの安定性を向上させるための補強工事を実施しています。

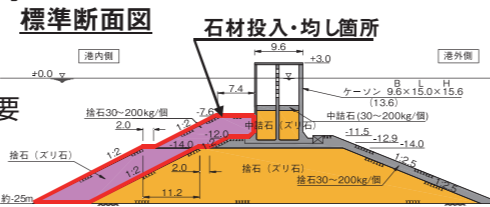
平成28年度も引き続き、鞠山防波堤の補強工事を実施します。

また、金ヶ崎地区の水域(泊地)については、-10m岸壁に対応した船舶の航行に必要な水深を確保するため、浚渫工事を計画しています。

位置図



H24.4.4 鞠山北防波堤の被災状況



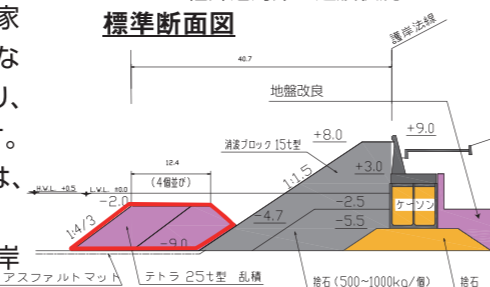
福井港海岸は、その背後に福井県最大の工業団地「テクノポート福井」や「福井国家石油備蓄基地」が立地し、福井県における重要な産業及びエネルギー基地の拠点となっています。しかし、日本海特有の冬季波浪により既設護岸前面での侵食が生じており、波高増大や消波ブロックの飛散、越波による護岸背後陥没被害などが発生しています。また、護岸背後の地盤は、地震時に液化化することが想定され、護岸が倒壊した場合は、広範囲にわたり甚大な被害を及ぼす恐れがあります。

このため、福井港の海岸事業では、離岸堤築造工事(消波ブロックの設置)及び護岸の地盤改良工事を行っており、平成28年度もこれらの工事を実施します。

位置図



福井港海岸の越波状況



◆港湾業務艇「まつかぜ」の体験航海を実施!◆

平成28年5月15日(日)、敦賀港のきらめきみなと館とその周辺において、「親子のフェスティバル」が開催されました。

このイベントは、親子・仲間・地域・自然とのふれあい等を通じて青少年の健全育成を図ることを目的に、青少年健全育成敦賀市民会議が主催するものです。昭和58年の第1回開催から



乗船の様子



体験航海を終えて...



港湾の役割などを興味津々に聞く親子

今回で34回目となり、当事務所では港湾業務艇「まつかぜ」による親子の体験航海を実施し、6回目の参加協力となりました。

体験航海は、乗船希望者を事前の電話受付により募集したところ、予約開始時刻から約40分ほどで定員の100名に達するほど、市民に親しまれる恒例のイベントになっています。

当日は、多少風が強かったものの天候に恵まれ、多くの家族連れが会場を訪れる中、午前10時から午後3時までの計5回「まつかぜ」を運航しました。船内では港湾施設の概要や取り扱い貨物などの説明を行い、乗船された皆さんは普段見ることのできない海からの眺めや港の役割に大変興味を示していました。

子供達からは「ちょっと揺れたけど全然怖くなかった」「また乗りたい」などの頼もしい言葉や、嬉しい声も聞くことができました。

また、フェスティバルでは海上自衛隊のミサイル艦や海上保安部の巡視艇が一般公開されたほか、日本に数台しかないとされる「Laフェラーリ」が展示されるなど、様々なイベントが実施され、多くの親子で賑わいを見せていました。

◆「平成28年度 敦賀港整備促進期成同盟会」定例総会が開催されました◆

平成28年5月25日(水)、敦賀港の整備促進と利用拡大を図る「平成28年度敦賀港整備促進期成同盟会」の総会が敦賀市役所で開催されました。

はじめに、副会長の淵上隆信敦賀市長が、「敦賀港の一層の利用拡大、貨物量増加に努め、関西・中京地方に近い地理的優位性を活かした国内外の物流拠点港にふさわしい整備を、関係機関にしっかりと要望していく。」と挨拶された後、平成27年

度の事業報告、平成28年度の事業計画が審議され、承認を得ました。

総会に引き続き、平成28年度敦賀港事業計画説明会が行われ、当事務所の大下所長、福井県嶺南振興局敦賀港湾事務所児玉所長が今年度の事業概要を説明しました。

会員からは、松原海岸の侵食対策及び縄間地区離岸堤の事業の促進について、ご意見・要望が出されました。



事業概要説明をする大下敦賀港湾事務所長



定例総会の様子